

2021年度事業計画 会議事項

■定時代議員総会

第12回 2021年 7月22日（木・祝）17：00～17：30（WEB会議開催予定）

■理事会

第42回 2021年 7月 2日（金）16：00～18：00（WEB会議開催）

第43回 2021年11月26日（金）15：00～18：00（WEB会議開催予定）

第44回 2022年 3月18日（金）15：00～18：00（WEB会議開催予定）

■委員会及び小委員会・ワーキンググループ

委員長が招集し、適宜開催する。（WEB会議開催予定）

事業事項

■専門医認定医制度

認定医

心血管カテーテル治療専門医

名誉専門医

■認定施設

研修施設・研修関連施設

■研修施設群制度

基幹施設・連携施設

■コメディカル認定制度

心血管インターベンション技師（ITE）制度

■年次学術集会

第30回日本心血管インターベンション治療学会；CVIT 2022

会 長：伊 莉 裕二（東海大学医学部附属病院）

会 期：2022年 7月21日（木）～7月23日（土）

会 場：パシフィコ横浜ノース・WEB配信

事務局：大会事務局 東海大学医学部附属病院

運営事務局 株式会社メディカル東友コンベンション事業部

テーマ：カテーテルインターベンションの真価

■地方会

第52回日本心血管インターベンション治療学会北海道地方会

会長：鈴木 孝英（旭川厚生病院）

会期：2021年 5月22日（土）

会場：WEB開催

第48回日本心血管インターベンション治療学会 東北地方会

会長：阿部 直樹（つがる西北五広域連合 つがる総合病院）

会期：2021年 7月10日（土）（2021年 7月10日（土）～17日（土） オンデマンド配信）

会場：WEB開催

第57回日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会

会長：阿古 潤哉（北里大学）

会期：2021年 5月 8日（土）

会場：WEB開催

TOKYO LIVE 2021/第58回日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会

会長：足利 貴志（武蔵野赤十字病院）

会期：2021年10月15日（金）・16日（土）（延期開催）

会場：大手町サンケイプラザ

第44回日本心血管インターベンション治療学会東海北陸地方会

会長：浅野 博（公立陶生病院 循環器内科）

会期：2021年 5月14日（金）・15日（土）

会場：WEB開催

第37回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会

会長：片岡 亨（ベルランド総合病院）

会期：2021年10月 9日（土）

会場：WEB開催

第38回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会

会長：浜中 一郎（洛和会丸太町病院）

会期：2022年 2月19日（土）

会場：メルパルク京都

第27回日本心血管インターベンション治療学会中国四国地方会

会長：上村 史朗（川崎医科大学）

会期：2021年 9月 4日（土）・5日（日）

会場：岡山コンベンションセンター

第31回日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会

会長：園田 信成（産業医科大学）

会期：2021年10月 1日（金）・2日（土）

会場：北九州国際会議場

CVIT2020教育セミナー

会期：2021年 4月 7日（水）～2021年 6月10日（木）

CVIT-TV配信、e-ラーニング配信

2021年度ITE講習会

会期：2021年 7月 5日（月）～2021年 9月 30日（木）

e-ラーニング配信

ITEスキルアップセミナー

e-ラーニング配信

機関誌

Vol. 36, issue 2, Pages 139-272 (April 2021)

Vol. 36, issue 3, (July 2021)

Vol. 36, issue 4, (October 2021)

Vol. 37, Issue 1, (January 2022)

Consensus documents

Cardiovasc Interv Ther. 2021 Apr;36(2):139-144. Doi:10.1007/s12928-021-00767-6

The Japanese Association of Cardiovascular Intervention and Therapeutics
position statement on coronary invasive procedures during the COVID-19
pandemic in Japan

Yuji Ikari, Shinichiro Yamada, Natsuhiko Ehara, Ken Kozuma, Toshiro Shinke,
Teruyasu Sugano, Fumiyasu Seike, Shinjyo Sonoda, Junichi Tazaki, Takafumi Tsuji,
Yoshiaki Mibiki, Takashi Muramatsu, Takashi Morita & Mitsuaki Sawano

Cardiovasc Interv Ther. Published: 20 March 2021 Doi:10.1007/s12928-021-00770-x
Consensus document on the standard of coronary angiography examination and assessment from the Japanese Association of Cardiovascular Intervention and Therapeutics

Yoshiaki Mitsutake, Hideto Yano, Takayuki Ishihara, Hiroshi Matsuoka, Yasunori Ueda & Takafumi Ueno.

CVIT expert consensus document on primary PCI for AMI 2022
尾崎 行男（藤田医科大学病院 岡崎医療センター）

Review papers

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 1. AMI後のWCD, ICDに関するreview | 上妻 謙（帝京大学） |
| 2. CTO (technical issue) | 角辻 暁（大阪大学） |
| 3. Renal denervation | 山本 英一郎（熊本大学） |

その他の出版物

以下、各賞の審査及び授与

■学会賞（CVIT2022会員総会にて表彰）

○最多ダウンロード論文賞

吉田 博之（日本赤十字社 福井赤十字病院）受賞時の所属

Comparison of in-hospital death following ST-elevation myocardial infarction between secondary emergency and tertiary emergency

鈴木 伸明（帝京大学医学部附属溝口病院）

Clinical expert consensus document on quantitative coronary angiography from the Japanese Association of Cardiovascular Intervention and Therapeutics

河原田 修身（医療法人錦秀会 阪和記念病院）

Peak systolic velocity ratio derived from quantitative vessel analysis for restenosis after femoropopliteal intervention: a multidisciplinary review from Endovascular Asia

○最多被引用論文賞

植島 大輔（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院）

Impact of chronic kidney disease stages on atherosclerotic plaque components on optical coherence tomography in patients with coronary artery disease

河原田 修身（医療法人錦秀会 阪和記念病院）

Contemporary critical limb ischemia: Asian multidisciplinary consensus statement on the collaboration between endovascular therapy and wound care

川瀬 世史明（医療法人澄心会 岐阜ハートセンター）

Clinical use of physiological lesion assessment using pressure guidewires: an expert consensus document of the Japanese Association of Cardiovascular Intervention and Therapeutics

○編集委員長特別賞

最多引用著者賞（1位）

齋藤 佑一（千葉大学医学部附属病院）

最多引用著者賞（2位）

工野 俊樹（マウントサイナイベスIsraエル病院）

坂倉 建一（自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器内科）

■委員会

1 理事長直轄委員会

-1. 将来構想委員会

中長期的な視点でCVITの果たす社会的役割を明確にし、それに基づいた将来構想を検討していく。COVID-19蔓延下における診療の見直し、働き方改革なども広く検討を行う。

-2. Stent Save a Life小委員会

① Stent save a life 国際委員会の出席(COVID-19の影響によりWEB開催)

② ACS実態調査事業をもとにACS診療の改善と将来提言

③ ACS診療における医療者のQOL改善と待機時間を診療報酬へ反映

-3. PFO協議会

① デバイストレーニングを行う。

② ホームページの充実、広報活動を行う。

-4. PCI技術料検討小委員会

PCI技術料獲得に向けた実態調査を行う。

-5. ライブあり方小委員会

ライブを安全に継続できるよう検討を行う。

2 総務委員会

① 会員状況の把握を行う。

② 2年間会費未納者への支払催促を徹底し、資格喪失者数の削減を行う。

③ 次期役員選挙に伴い、中央選挙管理委員会を設置する。

④ 学術集会、地方会のWEB配信システムについて検討を行う。

⑤ 新会員システム構築の進捗管理を行う。

⑥ 日本医学会加盟の申請をする。

⑦ 医師の働き方改革について、継続して検討・改革を行う。

⑧ ACSの緊急カテの待機時間について、令和6年診療報酬改定に組み込めるよう要望する。

⑨ 医療安全小委員会にて、デバイスの安全性及び医療安全の検討を行う。

⑩ 禁煙対策小委員会にて、禁煙推進に関する啓蒙活動を行う。

⑪ 医療機器産業活性化に関する厚労省科研費の申請を行い、今後の医療機器開発教育に学会として協力していく。

3 財務委員会

① 本学会の財務体制について検討するとともに、事業計画書、収支予算案ならびに収支決算書の作成・管理を行う。

② 災害復興支援基金の改定を実施する。

4 編集委員会

① 学会誌（英文）の定期発行と質の向上を行う。

② 「最多ダウンロード論文賞」「最多被引用論文賞」「編集委員長特別賞」の審査及び授与を行う。

③ IF（Impact Factor）取得のため、他誌への引用を促すための方策を検討、実施する。

5 専門医認定医制度審議会

- ① 新専門医制度及び専門医機構が認める専門医制度でのCVIT資格認定の方向性を検討する。
- ② 研修施設群運用、運用規約の再検討及びe-casebookによる運用を行う。
- ③ 専門医新研修カリキュラムの運用を行う。
- ④ e-casebookによる専門医技能評価を実施する。
- ⑤ 専門医筆記試験問題作成、筆記試験を実施する。
- ⑥ 認定医（新規）、心血管カテーテル治療専門医（新規）申請書類の審査を行う。
- ⑦ 認定医（更新）、心血管カテーテル治療専門医（更新）、名誉専門医（移行・更新）申請書類の審査を行う。
- ⑧ 専門医制度の教育カリキュラムに基づいたeラーニングシステムの運用。
- ⑨ 各認定資格更新申請者のための放射線防護講習会及び医療安全・倫理講習会の運用を行う（eラーニングシステムの運用）。
- ⑩ ライブを伴わない研修会の認定を行う。

6 ライブ委員会

- ① 適正なライブ運営について継続的に検討を行う。
- ② 心血管インターベンションの教育に相応しいライブの認定について継続的に検討を行う。

7 学術委員会

- ① 国際交流：EAPCI（ヨーロッパ）、KSIC（韓国）、SCAI（アメリカ）とのジョイントセッションの次回開催について、先方窓口と情報共有
- ② 国内交流：日本心臓血管外科学会、日本血管外科学会、日本心エコー図学会とのジョイントセッションの次回開催について、先方窓口と情報共有
- ③ CVIT2022プログラムの検討、特別企画の公募、選出を行う。
- ④ 日本循環器学会 JRoadデータ利用研究「本邦における急性心筋梗塞患者の急性期予後の現状：経年的トレンドと背景要因」を進める。
- ⑤ 各分野におけるコンセンサスドキュメント作成のためのWG設立を検討
- ⑥ 奨学金制度の導入について、アカデミックサポート小委員会の設立、審査過程の内規検討を行う。

8 レジストリー委員会

- ① 2020年施行症例の1年予後調査の施設サポート
- ② AMED川崎病研究班からの依頼による協力施設アンケート調査実施と報告
- ③ ACS発症時のCOVID-19との関連性アンケート調査の継続と会員への報告
- ④ CCC（Clinical research Consortium for CVIT）の運用
- ⑤ 個人情報保護方針改正に伴う倫理的配慮についての周知の継続
- ⑥ 2021年度登録データの集計及び会員への報告
- ⑦ 登録項目のアップデート及び仕様、定義の改定についての検討、周知
- ⑧ 2021年度 Research Proposal 公募、採択課題の解析から論文作成までのサポート
- ⑨ COVID-19影響下でのデータマネージャー会議の実施検討

9 保険診療・医療制度委員会

- 1. 冠動脈疾患部門
- 2. EVT、ステント部門
- 3. Structure治療部門
- 4. ASD・PFO特命委員会

- ① 5学会合同（日本透析医学会、日本透析アクセス医学会、日本IVR学会、日本血管外科学会、日本心血管インターベンション治療学会）でシャントDCB適正使用指針に則ったレジストリー開始の検討を行う。
- ② 4学会合同（日本IVR学会、日本心血管インターベンション治療学会、日本血管外科学会、日本静脈学会）でBard Medical社のLIFESTREAMデバイス適正使用指針について検討を行う。
- ③ 3学会合同（日本IVR学会、日本心血管インターベンション治療学会、日本血管外科学会）で2017年に作成したSFA DCB適正使用指針の改定を行う。
- ④ 4学会合同（日本IVR学会、日本心血管インターベンション治療学会、日本心臓血管外科学会、日本静脈学会）で、「Indigoデバイス」をニーズの高い医療機器として厚生労働省に申請を行う。
- ⑤ 2022年診療報酬改正要望に向けて厚生労働省とのヒアリングを行う。
- ⑥ 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）に関する施設基準に基づき、遵守証明書の管理、企業のデバイストレーニングのプログラム作成及び管理を行う。

10 コメディカル委員会

- 1. コメディカル部会
- 2. コメディカル資格制度のあり方検討ワーキンググループ
- 3. コメディカル部会ワーキンググループ

- ① ITE制度に関わる各種事業を継続する。
- ② 日本IVR学会のインターベンションエキスパートナース（INE）との連携を継続する。
- ③ ITE試験の実施、資格更新システムを導入する。
- ④ ITEならびにINEの単位申請の審査及び認定を行う。
- ⑤ CVIT-TVにて、隔月でのコメディカル部会主催WEBセミナーの配信を継続する。
- ⑥ e-ラーニングにて「ITEスキルアップセミナー」を配信する。
- ⑦ e-ラーニングにて「ITE講習会」を配信する。
- ⑧ ITE、INE、日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師の資格保持者への付加価値について検討を行う。
- ⑨ 「コメディカル部会ワーキンググループ」を発足し、コメディカル部会及びITE制度の今後の在り方について検討を行う。

11 広報委員会

- ① 英文ホームページの公開を行う。
- ② PCI実施施設の全国MAPを作成する。
- ③ 学会ホームページ（英文含む）にCOVID-19特集ページを新たに制作する。
- ④ CVIT-TV小委員会：CVIT-TVの継続、今後の企画及び課題について検討を行う。

12 倫理委員会

必要に応じ、本学会の倫理に関する問題の審議、研究倫理審査及び利益相反に関する審議を行う。